

就活生の皆様はじめまして！2016年に神戸大学経営学部を卒業致しました、前田南紀(よしき)と申します。私は大学卒業依頼、人材業界の「株式会社パソナ」という会社で、約6年間勤務して参りました。仕事内容としては、はじめの5年間は企業の中途採用をお手伝いする「営業担当」として、また転職希望者の転職をお手伝いする「キャリアアドバイザー」として企業・転職希望者をサポートして参りました。(95%以上は営業担当でしたが、、)ただ6年目以降については派遣の営業をしたり、企業の健康経営のコンサルティングなどをしたり、仕事の幅を広げております。またありがたいことに、今は数名のユニットのリーダーとしての役割をいただき、非常に充実した日々を過ごしております。

5年目までの仕事の詳細を少し説明致しますと、企業から現在の経営課題・それによる人材面の課題をヒアリングし、その課題に沿った人材をご提案するという流れになります。その中で求人票を作ったり、転職希望者の書類を添削して企業に提出したり、面接の調整をしたり、企業・転職希望者の最後の意思決定に関わったり、本当にやることは様々です。注意しなければいけないことは「常に双方の立場に立った提案を、根拠を持ってできるかどうか」です。仲介役なので、片方の「御用聞き」になってはいけないということですね、、自社の利益を考えつつも、「関わる人々全てが幸せになる」ように考えて行動する、非常に難しいながらもやりがいのある仕事だと思っております。

さて、ここまで仕事の説明をしてまいりましたが、企業の中途採用や転職希望者の活動を5年間サポートしてきた今だからこそ、就活生の皆様にお伝えしたいことがあります。それは、「1社目の会社で【何を成し得たいか】を明確にして就活をしてほしい」ということです。今は転職が当たり前の時代。「自社内での出世」だけがキャリアアップの手段ではなくなっています。転職を重ねることでどんどんキャリアアップし、それに伴い年収アップを実現している人がいるのは事実です。ただ、だからといって、「1社目を適当に選んでいい」わけではないんですね、、

神戸大学は世間一般的には「優秀な学歴」と呼ばれており、会社を選ばなければ就活は簡単に終わるかもしれません。ですが私はそこに落とし穴があると思っております。1社目をあまり考えずに選んでしまった方が、その会社で何も果たせていないまま、労働環境や仕事内容の僅かなギャップで転職をする、、このような方を私は【学歴関係なく】数え切れないくらい見てきました。そうならないためには、今から将来のことを考え、自分の力で情報収集をし、得た情報をもってやりたいことを決める。(当然方針の事後修正はあってしかるべきだと思います)「やりたいことを果たすために1社目で何を成し得たいか」この観点で就活をしていくと、入社後に後悔しない就職活動ができるのではないのでしょうか。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。皆様にとって就職活動が社会人の最高のスタートダッシュになるように祈っております。